

## 外食産業は、教育産業 店と人は共に成長しなければ

フジオフードシステム代表取締役社長

藤尾 政弘 氏

第8期卒業生

「まいどおおきに食堂」の原点が、追大時代の経験が僕のビジネスの原点

「まいどおおきに食堂」。独特の筆文字が印象的な看板を一度は見たことがあるだろう。世界655店舗を展開するフジオフードシステム代表取締役社長、藤尾政弘氏。追大8期生。日本が高度経済成長に向かう1955年、大阪で大衆食堂を営む家の次男に生まれた。幼い頃から店を手伝い、中学時代には独立を志していた。

「大学時代は、起業の準備に一所懸命でした。あちこちの繁盛店を訪ねてね」。

「グルメ情報誌などなかった時代。い

い店があるという噂を聞けば、京阪神はもちろん、東京、横浜へも行った。

「特に神戸は洒落た店が多かったね。ガラスの眺望が商品になることはあの頃学んだ。感受性の豊かな学生時代に感銘を受けた体験が、僕の今の店づくりの原点です」。

「そこから「経営」について考えるようになり、自分なりの結論を得る。『働く人が居つからないのは、その人の成長にふさわしいステージを用意してあげられないからだ』。

「人が成長する速度で店も成長すれば、一緒に成長できる。優秀な人材にチャンスとステージを。卒業後はその目標に向けて一直線。初めての出店時から『目標100店舗』を掲げていた。

「原動力は父の笑顔。幸せ共有し。目標は『日本一の食べもんや』」

「常目標だったのが父親の存在だ。成果を報告したときの父の笑顔を原動力に頑張ってきた。根底には人を幸せにするためにこそ働くという理念がある。」

「働く意味は、周りの人を幸せにするところにある。お客さまも、一緒に働く仲間も、関わるみんなと幸せを共有できる。そしてその輪が広がっていく。そういう組織でありたいと思う。」

「外食産業は教育産業」という仕事観から、従業員の育成にも力を注ぐ。

「日本のもてなしの心、洞察力は世界に誇る文化。最高のサービスができるスタッフに育ててほしいですね」。

「高料亭や一流ホテルのサービスに学び、また料理も地域や国にあわせて味付けや火加減を変えることわりよう。国内外を問わず店舗スタッフは現地採用を基本とし、まいどおおきに食堂各店は町の名前を店名に冠するなど、地域密着の方針を徹底している。」

「まだまだ夢の十分の一。うちの会社で自分の夢を叶えたい意欲ある学生を歓迎します。一緒に夢を実現しましょう」。

「目標は『日本一の食べもんや』だ。」



「まいどおおきに食堂」の原型となった藤尾社長の生家である丸天食堂。



素晴らしい先輩は追大の宝。取材に行った学生企画広報スタッフも大いに勇気づけられた

### 編集後記

「OTEMON BRIDGE」のスタートから半年。ついに第二弾が完成しました。学内やスクールバスで創刊号を見られた方もいるかと思いますが、今回はどれも前回とはまた異なった、新しい追手門学院大学を凝縮した企画、特集ばかりになっています。また、創刊号制作の際にはまだまだ戸惑いも多かった新入生のメンバーも慣れ、より自身の濃く成長した「OTEMON BRIDGE」が色々な人の手に届くかと思うと、とても嬉しいです。新たな切り口から学生目線で作られたこの冊子が、まだまだ大学について知らない新入生が追大をより身近に感じるだけではなく、在学生も知らない大学の一面を知ることにつなげられればと思います。

### 編集スタッフ

- 杉本 恵美 「心理学部 4年」
- 絹輪芽以 「心理学部 4年」
- 三上 雄輔 「経済学部 4年」
- 難波 亮祐 「国際教養学部 3年」
- 山川 沙苗 「経営学部 3年」
- 猪口 樹里 「心理学部 2年」
- 上田 美羽 「心理学部 2年」
- 本下 由純 「経営学部 2年」
- 山部 さくら 「経営学部 2年」
- 汪洋 「経営学部 2年」
- 松岡 駿弥 「心理学部 2年」



キャンパスや学院の情報や身近な話題をアップしています!是非アクセスして「いいね!」してくださいね。



<https://www.facebook.com/OtemonGakuinUniversity>

### 学生企画広報スタッフ募集中

広報スタッフに参加希望の方は第1回スタッフ会議にご参加ください。 ■ 4月18日(木) PM 3:00~[1号館3階会議室2B] メールでの応募・お問い合わせはこちらまで ▶ [gakuseikoho@ml.ccile.otemon.ac.jp](mailto:gakuseikoho@ml.ccile.otemon.ac.jp) [担当:杉本・絹輪]